

ネスト防府

はばたけ 明日へ!



かわら版

2017. 8. 3 発行【第2号】

合同オフィス“ネスト防府”を利用いただいている「01フィラメント株式会社」と「株式会社アイデアプラス」、サテライトオフィス誘致事業で弊社が連携している「NTT西日本山口支店」と「防府市商工振興課」、さらには「株式会社ドコモCS中国山口支店」、「野島地域自治会連合会」の協力を得て、去る7月28日、防府市の離島「野島」において「IT探検」を開催しましたので、ドキュメンタリーで紹介しましょう!

“IT探検 in 野島”は 大成功

快晴の青空のもと、30分の船旅もあっという間、定刻9時に潮の香りの清々しい野島に到着。



スタッフの引率で、オープニング会場となる漁村センターまで徒歩で移動。まずは、参加者・スタッフが一緒に、負け勝ちジャンケンや、誕生日順に並んでの自己紹介などのアイスブレイクを始めると、早や参加者のみんなはフレンドリーに。



そんな中、オリエンテーションで、守ってほしい事からの説明を受け、続いて、本日の主役スタッフ、講師の神田社長(01フィラメント株)が、子どもたちの「かんだ」コールの大合唱の中、おもむろに脇?から登場。

照れながらも、レクチャーが始まり、大真面目に「プログラミングって」「ITって何だろう」と熱く語られた!

“ITって情報技術って訳されるけど、情報技術って余計に分らないねえ。何となく漠然と、特にコンピュータの技術・役割を指す言葉がITだと思ってください”、“プログラムってコンピュータに指図する言葉で、きちんと組み立ててあれば、どんなことでも瞬時に確実にこなしてくれるよ。だから、プログラムを分かるようになれば、いろんなことができるようになるよ”なあって。



そんな分かりやすい説明の後、一人一台のタブレット^{*1}で、アワーオブコード(<http://hourofcode.jp/>)を使って、ゲーム感覚で楽しみながら、プログラミングを体感した。

***1** タブレットは、(株)ドコモCS中国山口支店から30台を無償で提供いただきました。

20人の子どもたちは6グループに分かれ、思い思いのスピードで、“できたよ！”“もう、そんなところまで！”といった調子。子どもたちの飲み込みは思った以上に素早く、周りのスタッフからは軽い悲鳴も・・・



午前の部もあっという間に終わり、昼食タイムをはさみ、13時までは自由時間。

将棋盤を見つけるや否や、女の子も交じって、本格的な将棋の対戦が、2面でスタート。外野もガヤガヤしながら、勝ち上がりで何局も。時の人、中学生棋士・藤井四段の活躍も影響しているのか、将棋人口もすそ野が広がっているように感じられた。



13時過ぎ、さらにお日様は輝きを増し、青空が出迎える中、待ちに待った、午後の部の「野島探検」がスタート。注意事項をおさらいした後に、3、4人のグループごとに戸外に出て、タブレットに組み込まれたグーグルマイマップ上のチェックポイントを巡り、ピカピカード^{*2}を操作することで、タブレットに組み込まれたアワーショッ

ト※3を作動させ、記念撮影を行い、10か所のチェックポイントを走破する、まさに「ITの凄さを肌で感じてもらう」醍醐味あふれるプログラムに挑戦。

※2.※3 (株)ourshotと(株)HackCampにご協力をいただき、ピカピカードが遠隔操作ボタンとなって、ボタンを押すとタブレットのアプリが起動し、撮影できるように、事前に神田社長に組み込んでいただきました。



10か所のチェックポイントには、撮影用のアプリを組み込んだタブレットをスタンバイさせ、額にたぎる汗を拭きふき、ガマン我慢のしどろしどろで、子どもたちがやって来るのを今か今かと待ちわびるスタッフの姿。

一方の子どもたちは、楽しみながらもグループの仲間で役割分担もしながら、野島エリアを行ったり来たり。チェックポイントを通過するたびに歓声を上げたり、ちょっと一息ついたり、思い思いの楽しみ方で探検を満喫しているようだった。



6 グループがゴールとなった野島漁村センターにつくと、意表を突いたクイズがお待ちかね。チェックポイントや野島ならではのクイズをくじ引きしてもらい、回答してもらおうというもので、みごとに正解した場合（不正解のグループはなかったようだが）、グループのみんなに棒アイスとうまか棒をプレゼント。暑さもヘッチャラな子どもとは言え、棒アイスには嬉しさの雄たけびもチラホラ。



全員が無事にゴールした後、少しの休憩をはさんで、再び神田社長の登場で、野島探検の結果発表や今日のまとめを。最後に、アンケートに答えてもらい、全員で記念写真を撮る。

船の出発までのわずかな時間も、子どもたちは海岸べりで海をのぞいたり、おしゃべりを楽しんだり。



予定の最終便で一路、三田尻港を目指し野島を後にしたが、船内は疲れた大人をしり目に、ワイワイガヤガヤの子どもたち。定刻通りに三田尻港に17時到着。大きな声で、お世話になった方々へのお礼もきちんと見え、解散。



初めての試みではあったが、子どもたちの笑顔を見るにつけ、夏休みの思い出の一コマになったものと感じ、事故もなく終えられた安堵感で、スタッフにもやっと笑顔が見られた。（今回は、ボリュームアップで紹介しました。次回のIT探検は、8月23日にルルサス防府で開催の予定。また、報告させていただきます。）